

みなかみ



平成28年度
長崎市立戸町中学校

学校通り 第20号
平成28年9月30日
(文責 把野)

■ 全国学力調査の結果が出る！ ■

5月に全国の3年生を対象に国語と数学で実施された学力調査の結果が出ました。

本校の結果 (市平均との比較)

- ①国語A (知識) …ほぼ同等
- ②国語B (活用) …わずかに下回る
- ③数学A (知識) …わずかに下回る
- ④数学B (活用) …下回る

■ 点数だけではなく… 本校のよい点は… ■

生徒に質問に答えさせて資料を集める調査も同時に行われました(生徒質問紙調査)。その中から、本校の「よい点」と「課題」が見えてきました。

県・全国平均を大きく超えたよい点

- Q学校に行くのは楽しいと思いますか？
→90.2%の生徒が肯定的評価でした。
 - Qいじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか？
→96.9%の生徒が肯定的評価でした。
 - Q人の役に立ちたいですか？
→98.2%の生徒が肯定的評価でした。
 - Q困っている人がいたらすすんで助けますか？
→87.6%の生徒が肯定的評価でした。
 - Q最後までやり遂げてうれしいと思ったことがありますか？
→98.2%の生徒が肯定的評価でした。
- 他にも、規範意識の高さ、朝食の摂取率の高さがあり、起床・就寝時刻も規則正しい傾向がありました。全国と比較しても素晴らしい傾向です。
- ▲「家での手伝い」は、国・県平均を下回っています。

■ 改善点は… ■

しかし、多くの改善点やよい点との矛盾点も見受けられました。

一番の気がかりは、結果から、生徒の「自信のなさ」が伺える点です。

Q自分には、よいところがあると思いますか？(66.4%、昨年度は、65%)

Q将来の夢や希望を持っていますか？(64.6%、昨年度は60.5%)

Q難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか？

(62.9%、昨年度は67%)

が県・全国平均と比べても低かったです。自己肯定感や自己有用感を何としても高めたいです。2学期は、色々な場面で、言って聞かせて、させてみて、褒めて、励まして自信と自主性を育てたいと思います。

さらに、認め合う学級の雰囲気作り、人の意見が聞ける生徒育成に努めます。

学習面では、学校評価と同様に家庭学習不足が課題です。予習は、県・全国平均を大きく上回っているのですが、復習がなされていません。これでは、学力の定着は図れません。1日1ページの自学ノートの提出指導等の具体的な手だてを研究して指導強化を図ります。その際、御家庭の協力をお願いします。

教科指導では、「本時のめあて」の確認不足は、昨年度からの取組で改善しましたが、1時間の振り返りがなされていないことが課題として残りました。

分かってもらえる授業を目指して、次の5点を2学期から早速、取り組みます。

- ①授業の最初にめあて(目標)を具体的に示す。
- ②生徒に、積極的に意見交換をさせる。
- ③生徒自ら考えることを大切にする。
- ④書く活動を重視する。
- ⑤自主的な学習を習慣化させる。

以上をまとめて、次のことについて、2学期の努力事項を全職員で確認し、共通理解を図りました。

(1) 授業改善の手だて

(『わかってもらえる授業』をめざして)

- ①毎時間授業の始めに「本時のめあて」を板書する。
- ②生徒間の「話し合い」の場の設定に努める。
- ③生徒の「発表」の機会を増やす。
- ④下位の生徒に手厚く、上位の生徒に満足を与える。
- ⑤「わかったか？」ではなく、「もう一度説明しようか？」と言う。
- ⑥授業の終わりに1時間の学習の振り返りを簡単に行う。
- ⑦継続・徹底で家庭学習の習慣化を追求する。

(2) 自己有用感の育成手だて

- ①言って聞かせて、させてみて、褒めてやって、励まして、自信と自主性を育てる。
- ②人を認め、人に認めてもらえる学級の雰囲気作りに努める。
- ③人の意見が聞ける生徒を育てる。

(3) 育ちの保障の手だて

- ①あいさつ…ワンストップ挨拶まで高める。
- ②返事(はい)…指名したとき、呼んだとき、聞いたときに大きな声で返事をさせる。
- ③聞く姿勢…話し手に体を向けさせ、相手の目を見させ、耳を傾け(心を込めて)させる。
- ④集会時の移動…無言で移動する。
- ⑤清掃…無言で行う。
- ⑥校歌の音量…母校を愛し、母校を誇りに感じて、自信を持たせる。
- ⑦学習訓「TOMACHI」を徹底する。
以上の17項目を日々の教員のチェックポイントとしています。

すべての項目を一度に実施改善は困難なので、1つずつ確実に推進していきます。

御理解・御協力いただき、学校を見守っていただければと思います。

なお、各教科の細部に渡る専門的な分析は、現在教科担当者で行っています。最終的には、「学力向上プラン」としてまとめ上げ、本校の学力保障に努めていきます。

■ 英語他はどうでしょう・・・? ■

3年生の県の英語学力調査も行われました。

結果は、県・市の平均を大幅に上回りました。

今年度も、全国学力調査と同時に市が行った1年生、県が行った2年生の学力調査も実施されました。その結果は、以下のとおりです。

1年生

出題範囲は小学校の学習内容でした。

国語科…市平均とほぼ同等。

意図を考えながら聞く力は全国レベルでしたが、「書くこと」「読むこと」が弱点でした。漢字の読み書きの練習強化から改善に努めます。

数学科…市平均をやや下回る。

小数の仕組みとその計算は全国レベルでしたが、比例や図形に弱点が見られました。まずは、計算等の基礎・基本の徹底、継続した指導に努めます。

2年生

国語科…市平均を上回る。

数学科…市平均を大きく上回る。

英語科…市平均を大きく上回る。

特に、英語科の結果は、市のトップレベルに属しています。

3年生の全国学力調査同様に、県・市の学力調査の結果を詳細に分析し、考察を加え、学力向上プランを作成し、1年後、2年後の確かな学力保障を目指します。

すぐできること、継続・徹底が必要なことも見極めて、確かな学力向上に努めます。

しかし、今回の結果は学力の特定の一部分で、本校の教育活動の一側面です。全教育活動で、学びと育ちの保障を推進します。